

犯罪防止パネルで 安全安心なまちへ

大竹駅前

大竹駅前交番に設置されていた、犯罪防止を訴える「犯罪のない街 健やかな街」と「鍵2つ」のパネル2枚が新調され、11月27日に贈呈式が行われた。パネルは大竹高校美術部によって製作され、三倉岳やストーンアートなど大竹にまつわるものが色鮮やかに描かれている。

大竹高校美術部の塗木遥香さん（1年）は「製作は大変だったけど、先輩たちと協力して完成させました。大竹が安全なまちになるよう願っています」と話していた。

11/27



（上）犯罪のない安全安心なまちにしたいと気持ちが高まった贈呈式。（右）12月11日、パネルを製作した大竹高校美術部に大竹署から感謝状が贈られた。



（上）児童たちもよく知っている「おおきななかぶ」を上演。（左）大きな声で「うんとこしょ、どっこいしょ」

12/4

人形劇で やさしい心を学ぼう

小方小学校

人権の心を学んでもらおうと、人権擁護委員により市内各小学校で行われている人形劇が、12月4日に小方小学校で行われた。

最初は話をしていた子どもたちも、人形劇「おおきななかぶ」が始まるとすぐに物語に引き込まれた。途中から先生が参加すると、いっそう盛り上がり、一緒に「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を上げていた。



（右）小方中3年大河内菜奈さん。（左）小方中2年長谷川明音さん。

12/9

人権作文コンテスト表彰

小方中学校
大竹中学校

全国中学生人権作文コンテスト廿日市地区大会の表彰が小方中学校と大竹中学校で行われた。廿日市地区の中学校14校から1665編の応募があり、長谷川明音さん（小方中2年）と大河内菜奈さん（小方中3年）が優秀賞、木村智子さん（大竹中3年）が入賞に選ばれた。表彰では、広島法務局廿日市支局長から受賞者にそれぞれ表彰状と贈呈品が手渡された。



大竹中3年木村智子さん。



（上）スーパーボールすくいをはじめ、さまざまなゲームを楽しむ子どもたち。（右）一生懸命作った、お絵かき手作りカバン。完成品に大満足。



11/17

（上）会場は多くの人でにぎわった。（右）立派な野菜がずらりと並び、農産物品評会。



大竹の「おいしい」が いっぱい 大盛況の秋まつり

マロンの里交流館

三倉のもみじが紅く色づく頃、マロンの里秋まつりが開催された。今年にはJAフエスティバルと同時開催ということもあり、5000人以上が駆けつけた。直売所では、地元で採れた新鮮野菜が並び、たくさんの方が品定めをしては買い求めていた。また、外ではヨーヨー釣りなどのゲームや大竹オイスター焼きそばの販売、神楽などのステージ発表が行われ、まつりは最後までにぎわいを見せた。

市内から訪れていた、野坂みなみさん（小方小2年）は「今日はおぼあちゃんと弟と来ました。宝さがしが一番楽しかったです。また来年も来たい」と話してくれた。



（上）「1回でヨーヨーが釣れました」と嬉しそうな、野坂みなみさん。



（右）参加者同士会話を楽しみながらウォーキング。（下）多くのボランティアの見守りで参加者は安全にウォーキングが楽しめた。



（上・左）コース上には多くのストーンアートが点在。

11/23

楽しく歩いて健康づくり

大竹中学校
（スタート・ゴール）

市制施行60周年記念として、市民と行政が一緒に考え実行する、市民提案事業。その事業の1つである、「巨石（ストーン）アートをめぐるノルディック・ウォーキング」がおおたけが11月23日に行われた。52人が参加し、シヨートコース（3km）とロングコース（6km）に分かれ、ストーンアートなど大竹のまちにあるものを眺めながらウォーキングを楽しんだ。

広島市から参加の奥田勢津子さんと石本重夫さんは「普段から他市で行われるさまざまなノルディック・ウォーキングのイベントに参加しています。このイベントは、ストーンアートを眺めながら歩くことが出来るので一石二鳥ですね。とてもおもしろかったので、このようなイベントがどんどん企画されていってほしいと思います」と話してくれた。

